

令和5年 第863回小浜市教育委員会定例会 会議録

開催日時	令和6年1月18日(木)		開会 15:30 閉会 16:30		
開催場所	市庁舎4階401会議室				
出席委員	窪田教育長	上田職務代理者	村上委員	桂田委員	坂下委員
欠席委員					
事務局	内田教育総務課長	日比野生涯学習スポーツ課長	松宮 GL	井上 GL	栗原 GL
	安田企画主査	上林指導主事			
傍聴者					
会 議				会議の結果	
<p><b>委員会開会</b></p> <p>(教育長) 宣言および開会あいさつ</p> <p>始めに、元旦に発生した能登半島地震でお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された地域の皆様にお見舞い申し上げたい。</p> <p>市内においても家族と共に避難するなど、身近な場所で発生した今回の地震を自分事としてとらえた子どもたちが多いのではないかと思う。各学校においても今回の地震で学んだことを今後に生かしていくことが非常に重要であると思う。学校では、東日本大震災後、地震対応マニュアルの見直しを図っており、特に津波から早く避難する訓練を行っているところであるが、今一度、地震対応マニュアル、特に津波対応について見直し、さらに改善できるところは改善を求めていきたい。また、子どもたちに避難訓練の重要性を、訓練を通していっそう理解してもらいたいと思う。</p> <p>大リーガーの大谷選手からグローブが届いている。各校に配布し有意義に活用してもらいたい。</p> <p><b>1 会議録の承認について</b></p> <p>第862回教育委員会定例会会議録 &lt;&lt;承認&gt;&gt;</p>					

## 会議録署名人2名の選任

第863回教育委員会定例会会議録署名委員選任 《上田職務代理者、桂田委員》

## 2 報 告

・報告第1号 諸般の報告 令和5年12月15日～令和6年1月17日

行事予定 令和6年1月18日～令和6年2月29日 《承認》

村上委員 1月25日に、小浜中学校の入学説明会において休日部活動の地域移行の説明をするとのことだが、小浜第二中学校でも予定されているのか。

事務局 小浜第二中学校は、オンライン形式での入学説明会を予定しており、休日部活動の地域移行については、小浜中学校での説明の様子を録画した映像を流すことになっている。

村上委員 質問はできるのか。

事務局 小浜中学校では質問できるが、小浜第二中学校については、映像を流すため質問できない。

・報告第2号 小浜市立小学校および中学校の処務細則の一部を改正する訓令の制定について《承認》

## 3 議 案

・議案第1号 小浜市教育委員会顕彰規則に基づく被表彰者の決定について 《承認》

村上委員 西津小学校の酒谷さんについて、平成14年に西津小学校ボランティア委員会が表彰されているが、今回は読み聞かせボランティアとして表彰するというところでよいか。

事務局 平成14年の西津小学校ボランティア委員会は様々なボランティア活動を行う委員会であり、今回は読み聞かせボランティアを行っている個人を表彰するものである。

#### 4 教育長報告

窪田教育長 1月11日に、小浜市から11名の教員が愛知県春日井市出川小学校を訪問した。春日井市全体が教育DX先進地であることから、北は北海道からも視察に来られていたと報告を受けている。小浜市も春日井市を参考にして教育DXを進めたいと考えている。次回の総合教育会議でも議題の1つとする予定である。訪問概要について事務局から報告する。

事務局 小浜市には長年取り組んでいる「自ら学ぶ子どもの育成」という教育理念があり、春日井市も同じ教育理念のもと教育が行われていると聞いていたため、訪問前から楽しみにしていた。

出川小学校は国のリーディングDXスクール事業の指定校となっており、情報活用能力の育成に力を入れている学校である。当日は各学年の代表クラスの授業を参観させていただき、その後、教務主任から学校の取り組みについて説明があった。お手元の資料は、その時に教務主任からいただいたものである。詳しくは1月31日の総合教育会議でお伝えしたいと考えている。本日は、実際に子どもの姿を見て感じたことを、3点お伝えしたい。

まず1点目は、4年生の授業を見て特に印象に残っているのは、子ども達の情報活用能力の高さである。子ども達が学びにおいてICTの活用方法を熟知している。教員側からの指示が一切無くても、子ども自身が必要に応じて必要なアプリを活用して、学びを深めている。かなり使い込んでおり、どの子も必要に応じて使い分けができていることに驚きを感じた。

2点目は、子どもたちの自己有用感が高いと感じた。附属校ではないので生徒指導上難しいと思う子も各学級に何人か見受けられたが、授業中45分間、誰も遊ぶことなく学びを続けていた。学力が低いと思われる子も、一生懸命投げ出さずに取り組んでいることが印象的だった。何故そのようにできるのか。理由としては、やはりICTを上手く活用しており、途中過程で友達の様子を覗くことができるので、友達の考えなどをパソコンの画面上で確認し、自分の考えに合うものを探し出し、自分の考えを再構築することができる。また、わからないことがあったらチャット

機能を使っていつでも友達に聞くことができる。そのため、最後まで投げ出さずにできるのではないかと感じた。また、自分の学習履歴や自分が作成したものが画面に残っていくということは本人の自信になり、皆が学びに参加していると感じられるところが、自己有用感の高まりにつながっているのではないかと感じた。

3点目は、自分で調整しながら学びを進めており、学力の高い子もそうでない子も自分のペースで進められていると感じた。授業の終わりに考えをまとめる際、ある子は自分がこれまでに書いてきた振り返りを見返しながら、同時に友達の考えも画面上で見ている。以前の自分の考え、今の自分の考え、そして友達の考えを見て、授業の振り返りを入力していた。以前からの学びが途切れずに自分のペースで続けられている。このようなことが、ICTを活用することで可能になるのかと実感した。授業後には、このような子どもを育成する出川小学校の取り組みを話していただいたが、そのことについては、総合教育会議で動画を用いてお伝えしたいと考えている。

上田職務代理者 低学年の1年から3年生は、どのようにICTを活用されているのか。

事務局 低学年の授業については実際には観ていないが、教務主任から全体の様子を聞くと、低学年は教員が入って指導する場面は高学年よりは多いが、それを繰り返す中で、子どもたちは自分でアプリの活用方法を身に付け、活用する場面をどんどん増やしていているとのことだった。

上田職務代理者 先生方への指導も行き届いていないと、自分の思っていることを児童へ伝えることは難しいと考えるが、先生方の中で共有したりや講習会を開いたりなどしているのか。

事務局 春日井市も特別な学びをしているわけではないが、グーグルを活用し汎用的に使える機能をしっかり使いこなしている。教員自身が日常で活用することで覚えられている。会議ではチャット機能なども活用している。子どもの学びと同じように教員も学んでいるとおっしゃっていた。

上田職務代理者 子どもたちは、チャットを授業中に使っているのか。

事務局 授業中にチャットで意見交換をしている。一見、みんな画面に向かって会話がな

いように見えるが、パソコンの画面をのぞき込むと、そこでは質問などのやり取りが行われていた。

窪田教育長 リアルに意見のやり取りもあるのか。

事務局 必要であれば、画面を見せながらやり取りをしている。あちこちで自分に必要な学びがやり取りされているという感じだった。

上田職務代理者 今回参加した11名の教員は、自ら参加を希望したのか。

事務局 自分で希望して参加した。

窪田教育長 希望した教員はもっといたが、全員は行けなかった。全国から最大50名の受け入れのところ、小浜市に10名の枠を確保していただいた。

村上委員 出川小学校はリーディングDXスクール事業の指定校となって何年目か。

事務局 2年目だと聞いている。

窪田教育長 春日井市は、二十年以上前からICTを活用した教員の校務の改革を行ってきており、校務改革の次には、教員研修や職員会議の改革をICTを活用して進めてきた。そこへGIGAスクール構想で一人一台端末が配備されることとなり、これまでの取り組みにより培われた実績をベースとして、ICTを活用した「自ら学ぶ子どもの育成」を目指す授業改革が進められており、全国の先進地となっている。授業においては、学習の孤立化が起きないように、ICTを活用して協働的に学び、友達とのコミュニケーションを図り、また、友達の真似をすることは恥ずかしいことではないという考え方が浸透している。子ども同士、また子どもと教員との信頼関係ができている。

村上委員 校務や研修でのICTの活用は、小浜市では進んでいるのか。

事務局 小浜市でも校務支援システムのC4thなどを活用しているが、春日井市ほどは進んでいない。

村上委員 先生方の負担が減るように活用していただきたい。

坂下委員 これまでから春日井市の取り組みを聞いていて、どうやってそのレベルまで情報活用能力を上げることができたのか不思議だったが、今回の報告を受け納得した。小浜市もどうやっていくとよいのか考えていきたい。

事務局 出川小学校の教務主任は、校務、研修、授業のそれぞれの改革が相似形で進められ

ていくことが重要であり、授業だけ行おうとしても難しいので、どれか一つするのはなく、すべてにおいて能力を上げていく必要があるとおっしゃっていた。

桂田委員 先生方が身に付けてから、子どもに教えていかれたということか。

事務局 やはり教員が身に付け、その価値を実感しないと継続できない。

窪田教育長 小浜市でも、これから、校務・研修・授業改革と教員のICT活用能力をいっそう向上させながら進めていくことが大切であり、そのための方策に知恵を絞っていく必要がある。

上田職務代理者 庁内の課長会議などは、タブレットを活用しているのか。

事務局 タブレットを活用し、会議資料等はデータで共有している。

窪田教育長 教員用タブレットについては、小浜市ではパソコン教室のタブレット型パソコンを教員に再配備して対応している。本来の授業の良さも活かしながら、ベストミックスを図っていくことが大事だと考えている。

## 5 その他

なし

### 委員会閉会

(教育長) 宣言

この会議録が真正であることを確認して署名する。

小浜市教育委員会議事録署名委員

委員 上田 俊彦 教育長職務代理者

委員 桂田 理津子 教育委員